

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第1区分

【発行日】平成17年8月11日(2005.8.11)

【公開番号】特開2003-270206(P2003-270206A)

【公開日】平成15年9月25日(2003.9.25)

【出願番号】特願2002-76448(P2002-76448)

【国際特許分類第7版】

G 01 N 27/447

C 12 Q 1/68

G 01 N 21/64

G 01 N 33/53

G 01 N 33/566

G 01 N 33/58

【F I】

G 01 N 27/26 3 2 5 E

C 12 Q 1/68 Z

G 01 N 21/64 F

G 01 N 33/53 M

G 01 N 33/566

G 01 N 33/58 A

G 01 N 27/26 3 1 5 K

【手続補正書】

【提出日】平成17年1月27日(2005.1.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

核酸試料から得た種々の長さの核酸断片を電気泳動して得られた4種類の塩基の蛍光強度波形データのピーク情報を元に前記核酸試料の塩基配列を仮決定するステップと、

前記仮決定した塩基配列と既知塩基配列に対してホモロジー検索を行い、前記仮決定した塩基配列に相同性が高い既知塩基配列を並置するステップと、

前記並置した核酸試料の蛍光強度波形データの信号強度と既知塩基配列の対応する蛍光強度波形データの信号強度とを、横軸を揃えて比較するステップとを含み、

前記核酸試料の第1の塩基の蛍光強度波形データの所定のピークの信号強度が、既知塩基配列の前記第1の塩基の蛍光強度波形データの前記所定のピークに対応するピークの信号強度に対して所定の割合以下である場合に、当該ピーク位置に塩基変異が生じている可能性があると判定することを特徴とする核酸試料の塩基配列決定方法。